

2009年度第2四半期 決算説明資料



大豊工業株式会社

2009年12月2日

はじめに



取締役社長

上田建仁

当社グループが2015年に目指す姿「VISION2015」を策定し、その実現に向けて「確固たるエンジニアリング」に立脚した製造業」を目指すと共に、自動車の燃費改善・温暖化防止に貢献し続けてまいります。

目次

1. 2009年度 第2四半期決算の概況
2. 2009年度 通期業績予測
3. 当社の取り組み

2009年度 第2四半期決算のポイント

第2四半期実績・通期予想を上方修正

7-9月期から営業利益・経常利益黒字化

中間配当金：8円（年間配当は未定）

1 . 2009年度 第2四半期決算の概況

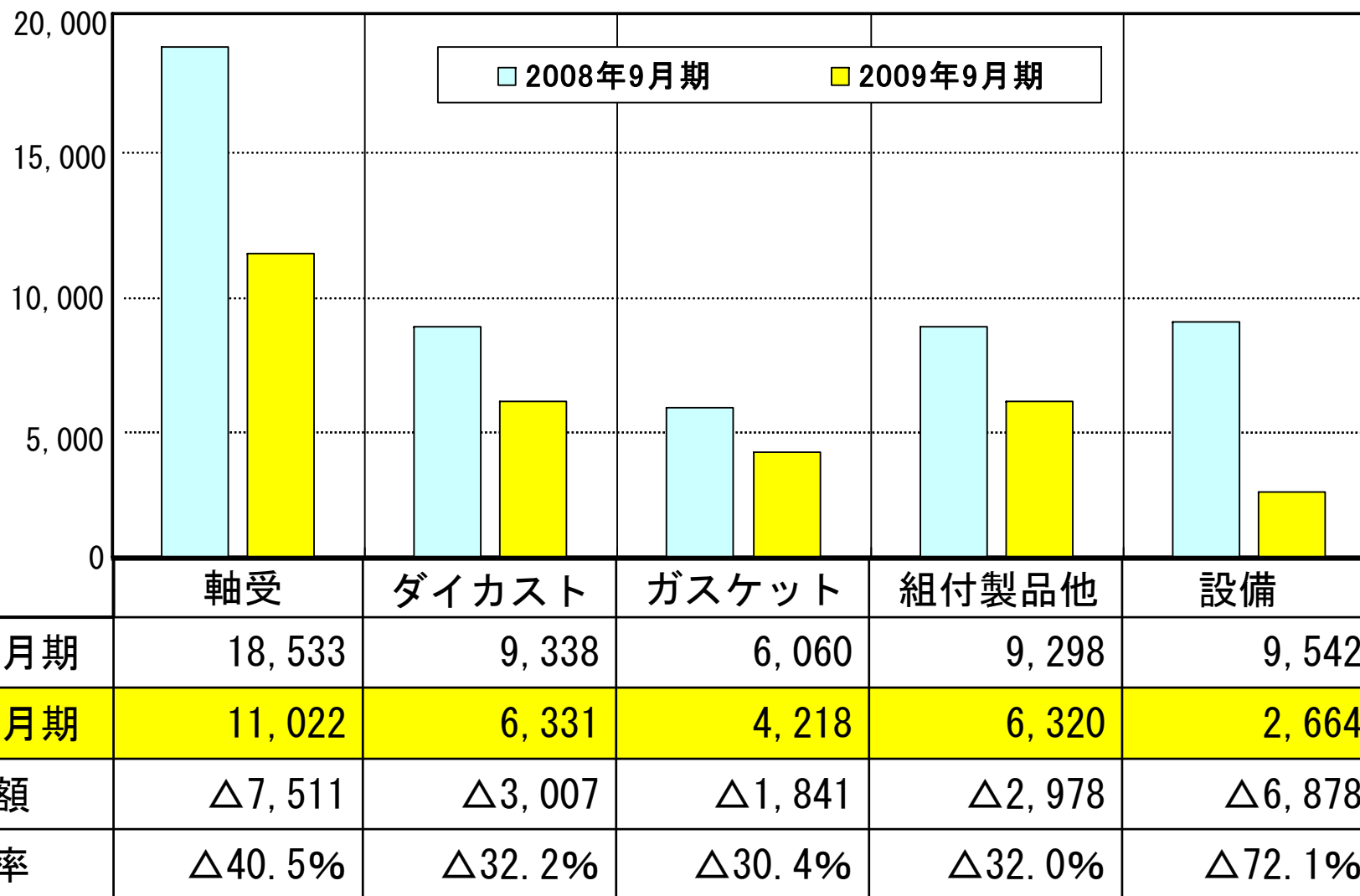
2009年度 第2四半期決算の概況 =連結=

単位：百万円

	2009年9月期		2008年9月期 実績②	増減値 ①－②	増減率
	4月時点予想	実績①			
売上高	30,000	30,659	52,938	△22,279	△42.1%
営業利益	△2,600	△580	1,800	△2,380	－
経常利益	△2,400	△318	1,889	△2,207	－
四半期純利益	△1,600	△1,127	994	△2,121	－
為替レート	95円/ドル 120円/ユーロ	95円/ドル 127円/ユーロ	105円/ドル 161円/ユーロ	10円 34円	9.5% 21.1%
1株当たり純利益	△57.00円	△40.17円	35.44円	△75.61円	－
トヨタ生産台数	295万台	318万台	409万台	△91万台	△22.2%

事業別売上高 =連結=

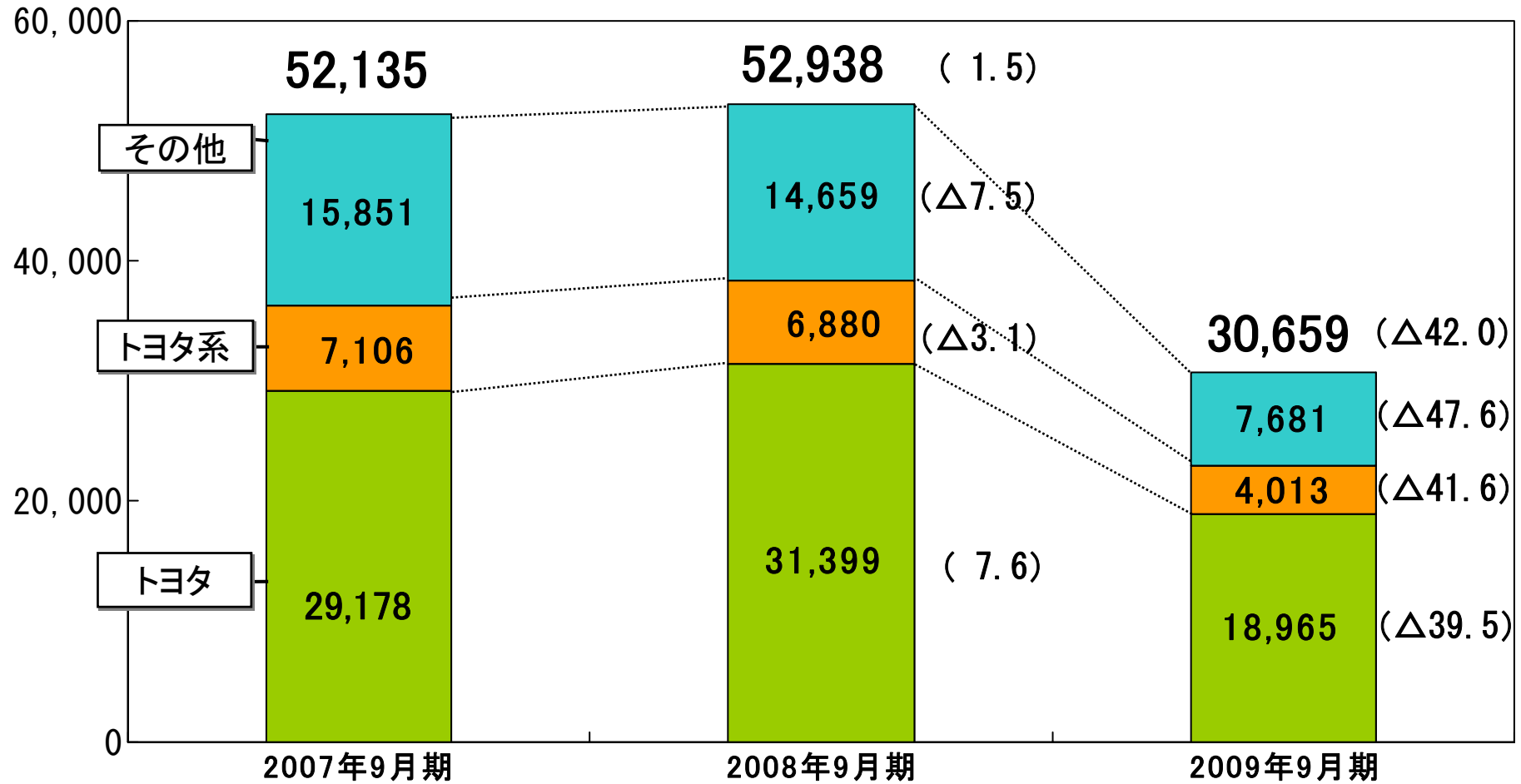
(百万円)



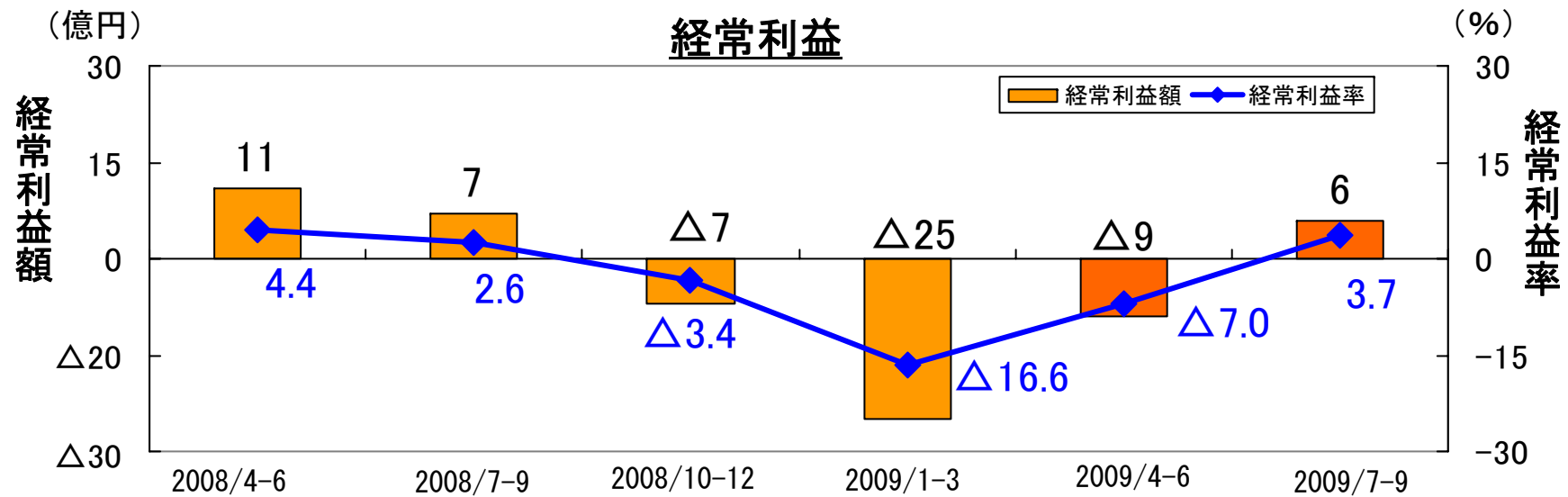
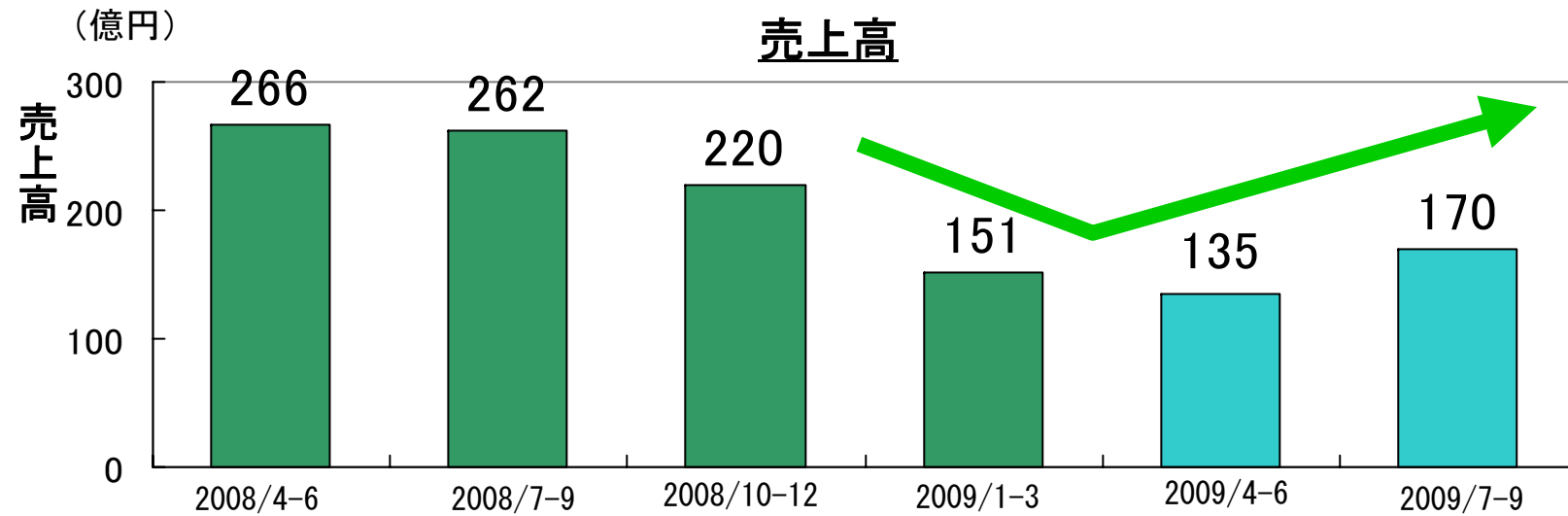
顧客別売上高構成 =連結=

(百万円)

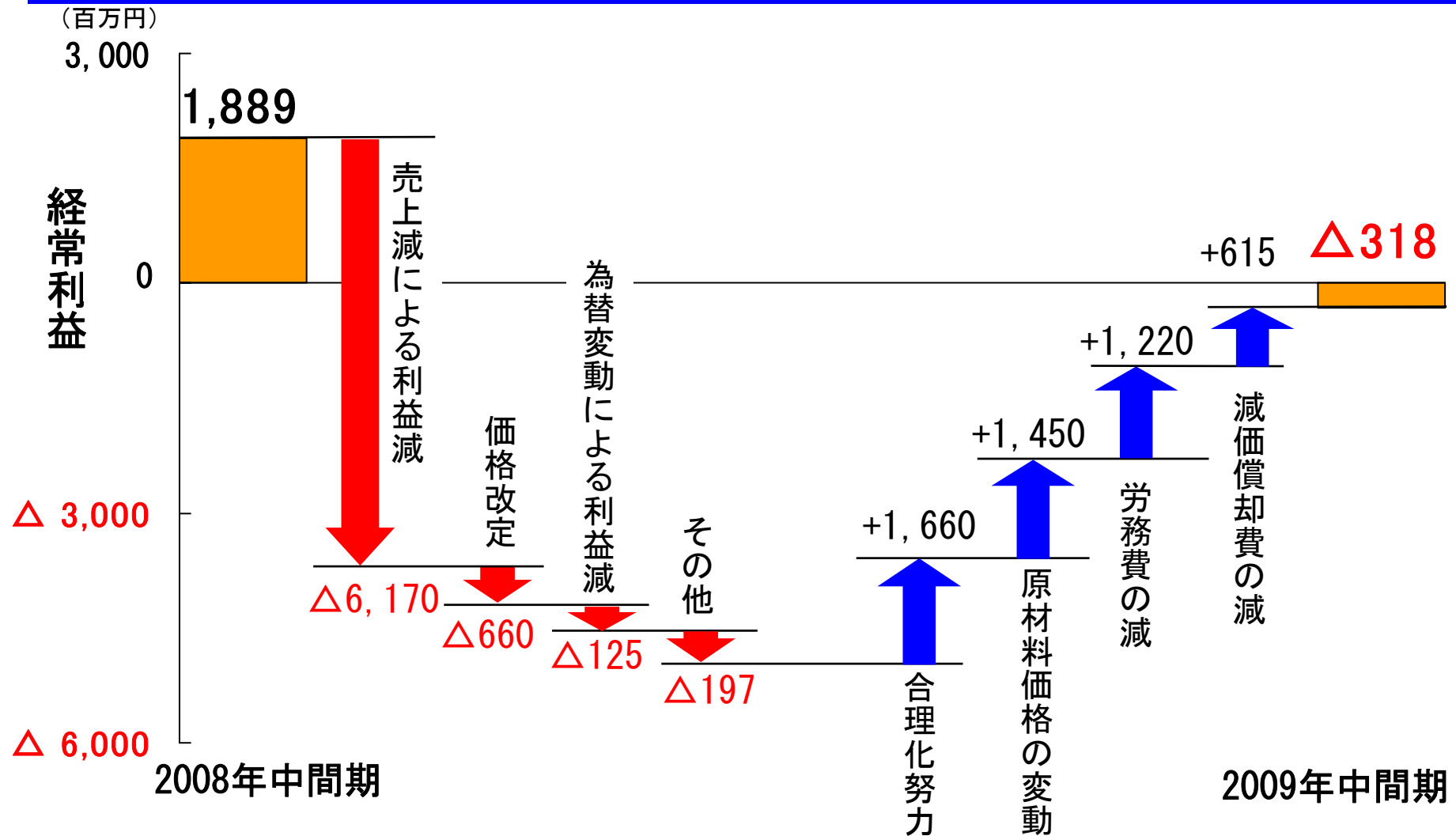
(カッコ内は対前年増減率 (%))



売上高・経常利益の四半期比較＝連結＝



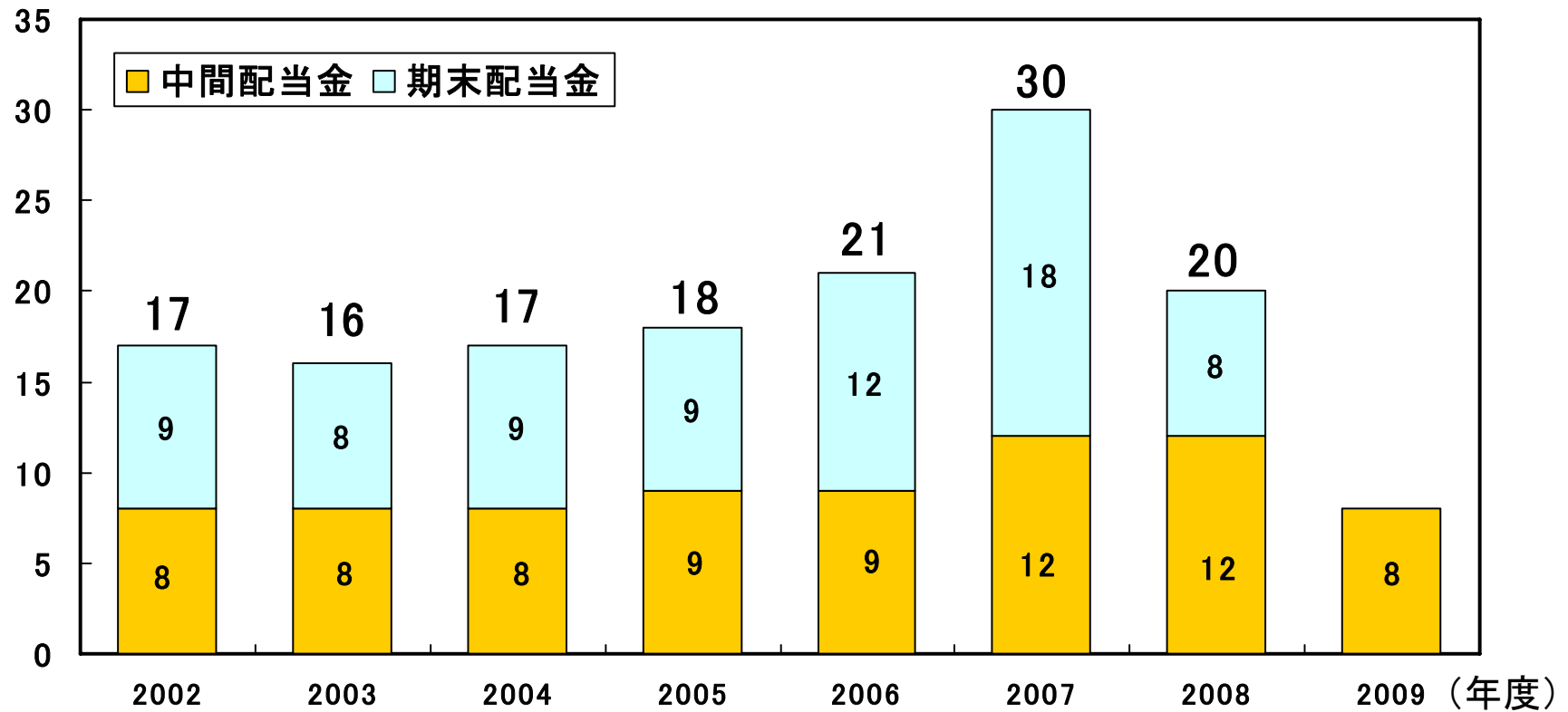
経常利益増減要因(前年同期比) =連結=



経常利益 2,207百万円の減少

株主還元

(円)



2009年度 中間配当金：8円

2. 2009年度 通期業績予測

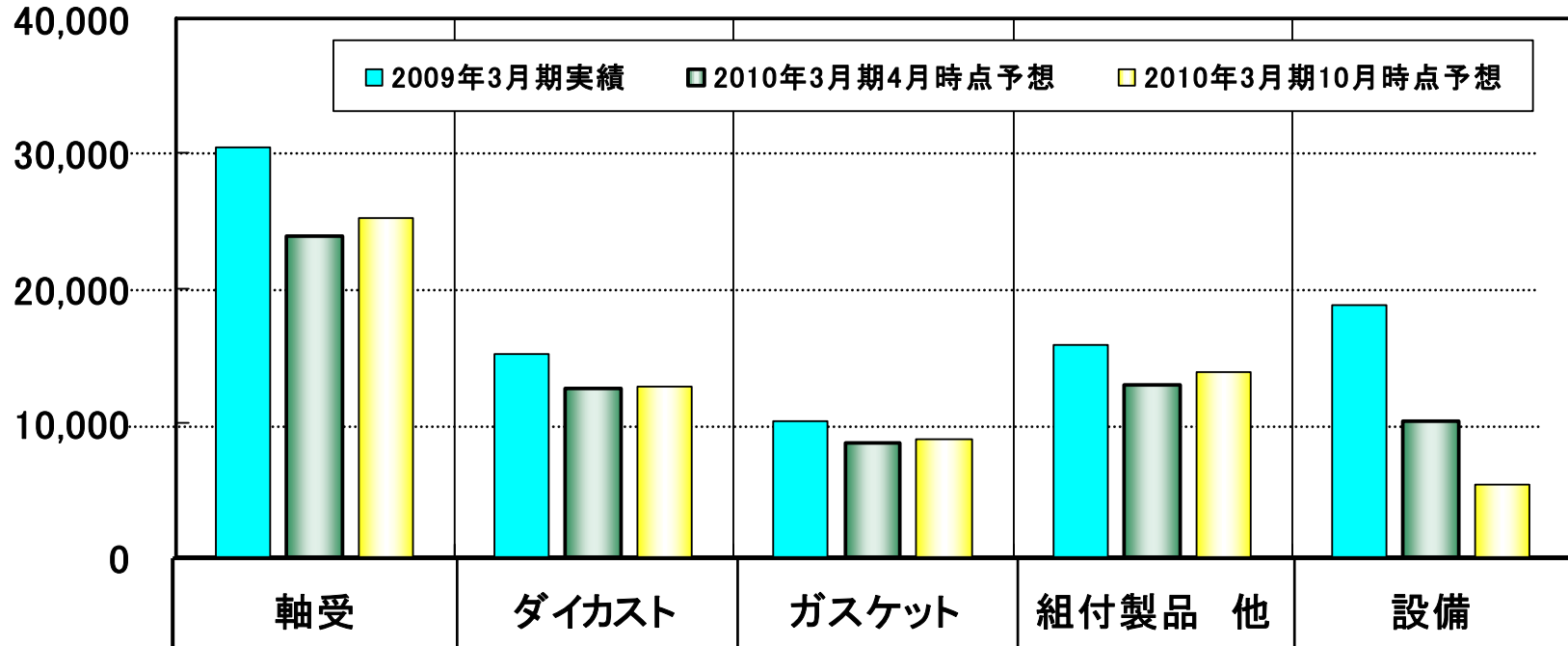
2009年度 通期業績予測 =連結=

単位:百万円

	2010年3月期		2009年3月期 実績②	増減値 ①-②	増減率
	4月時点予想	10月時点予想①			
売上高	68,000	66,000	90,152	△24,152	△26.8%
営業利益	△3,200	△350	△1,223	873	-
経常利益	△2,700	200	△1,393	1,593	-
四半期純利益	△1,700	△800	△1,812	1,012	-
為替レート	95円/ドル 120円/ユーロ	90円/ドル 130円/ユーロ	95円/ドル 123円/ユーロ	5円 △7円	5.2% △5.3%
1株当たり純利益	△60.56円	△28.50円	△64.59円	36.09円	-
トヨタ生産台数	650万台	730万台	705万台	25万台	3.5%

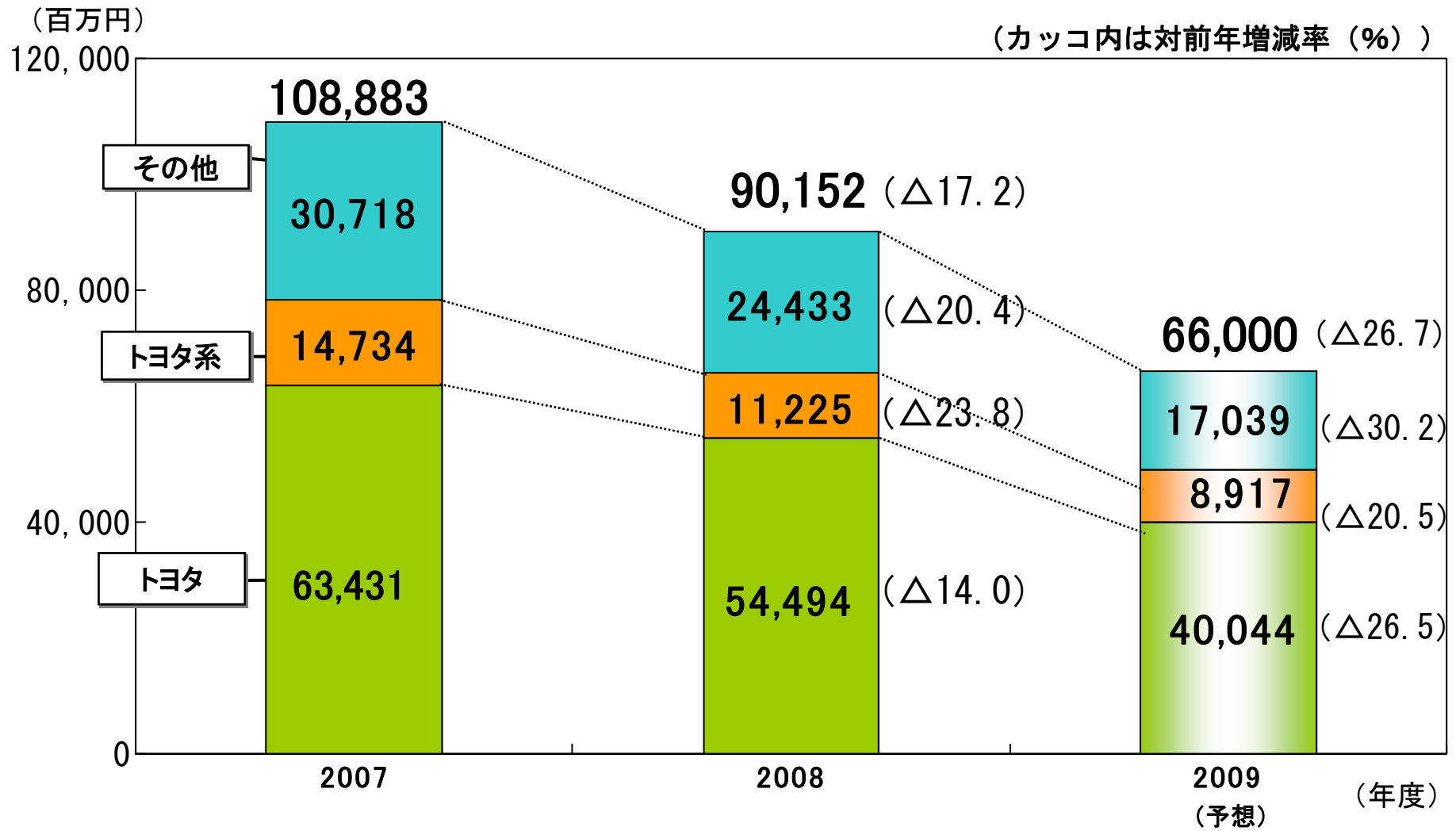
2009年度 事業別売上高予想 =連結=

(百万円)

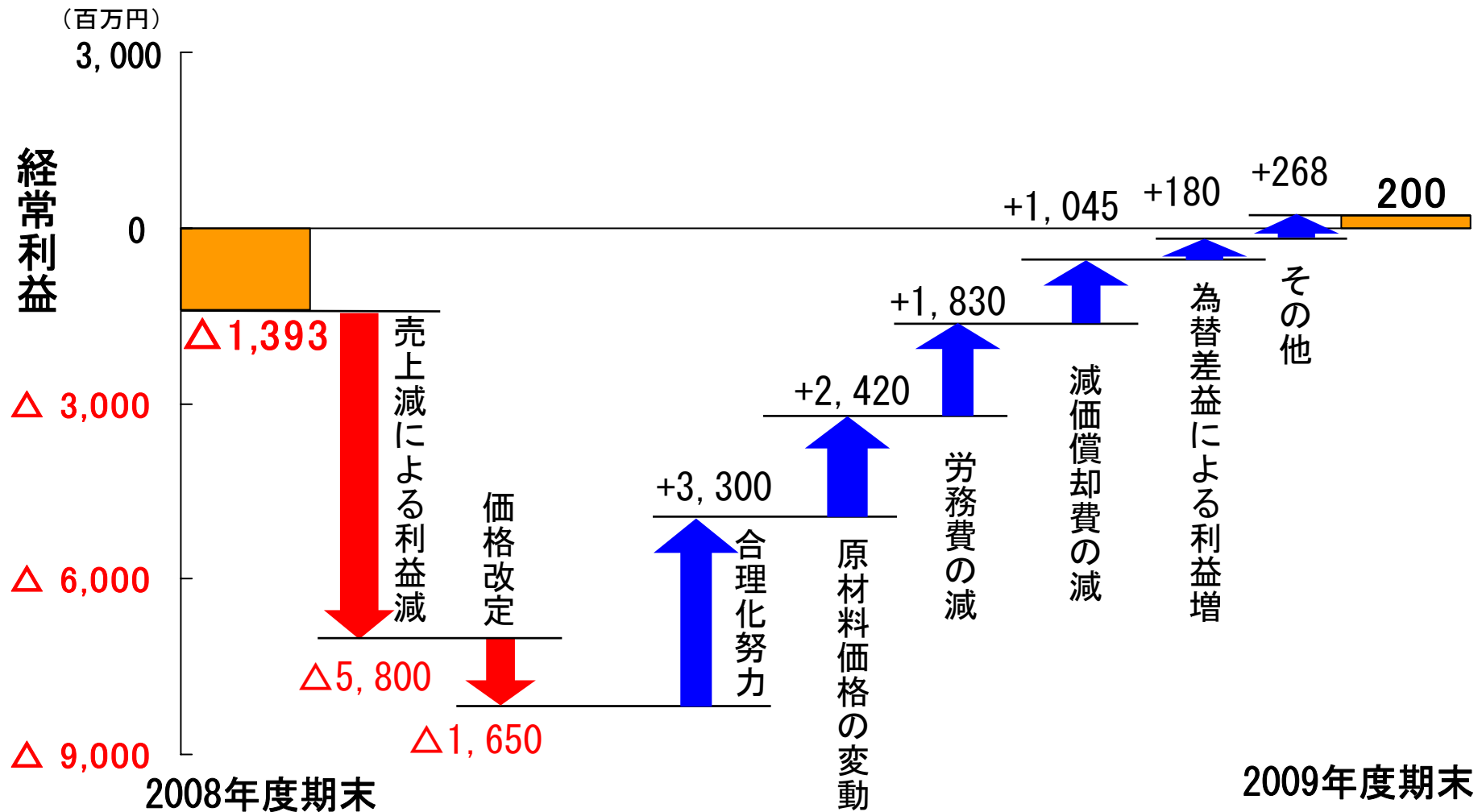


	軸受	ダイカスト	ガスケット	組付製品 他	設備
2009年3月期実績 ①	30,422	15,051	10,063	15,710	18,686
2010年3月期4月時点予想	23,800	12,600	8,500	12,800	10,100
2010年3月期10月時点予想②	25,200	12,700	8,700	13,800	5,400
増減額 ②-①	△5,222	△2,351	△1,363	△1,910	△13,286
増減率	△17.2%	△15.6%	△13.5%	△12.2%	△71.1%

顧客別売上高構成 =連結=



経常利益増減予測(前年比) =連結=

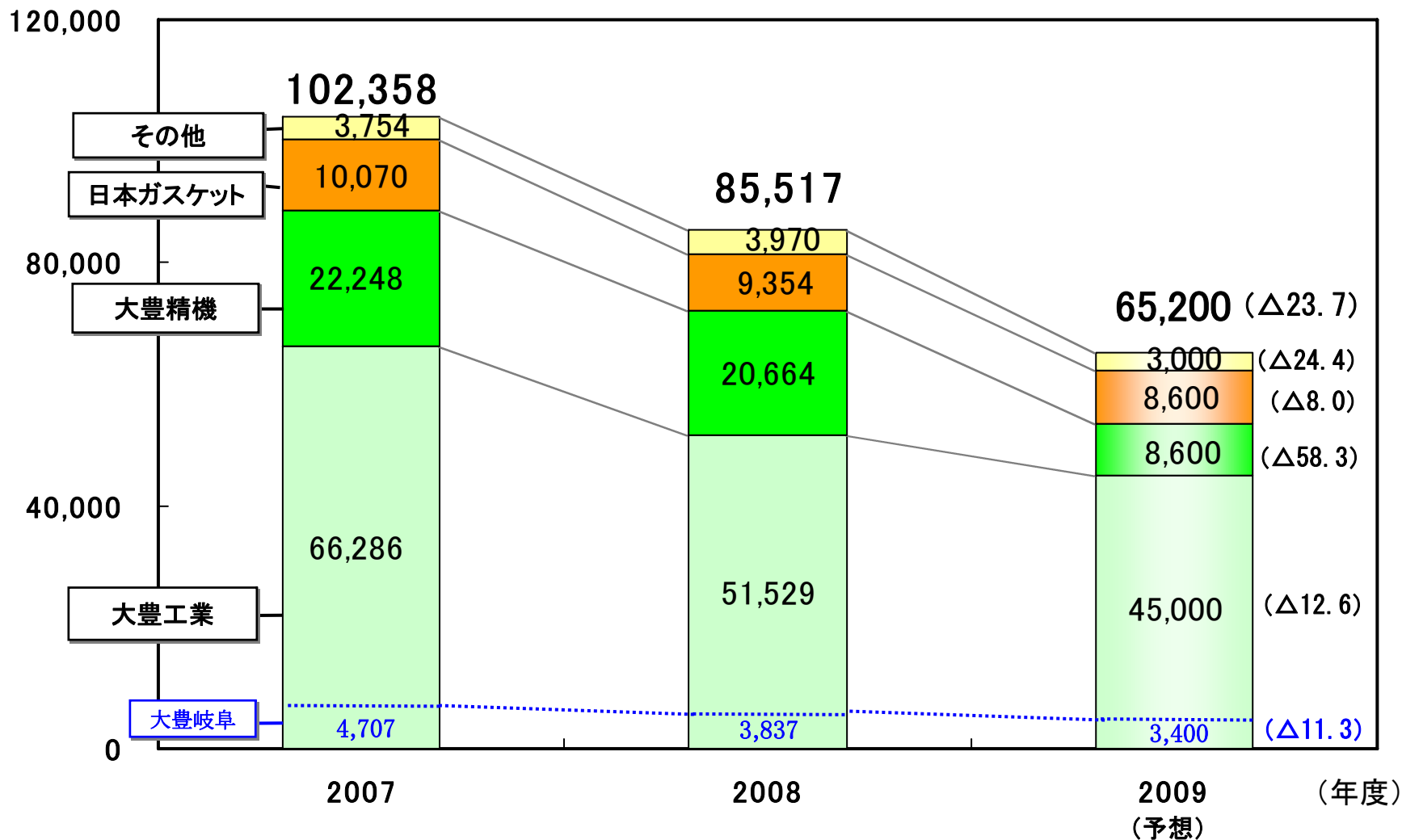


経常利益 1,593百万円の増加

国内連結売上高(連結消去前)

(百万円)

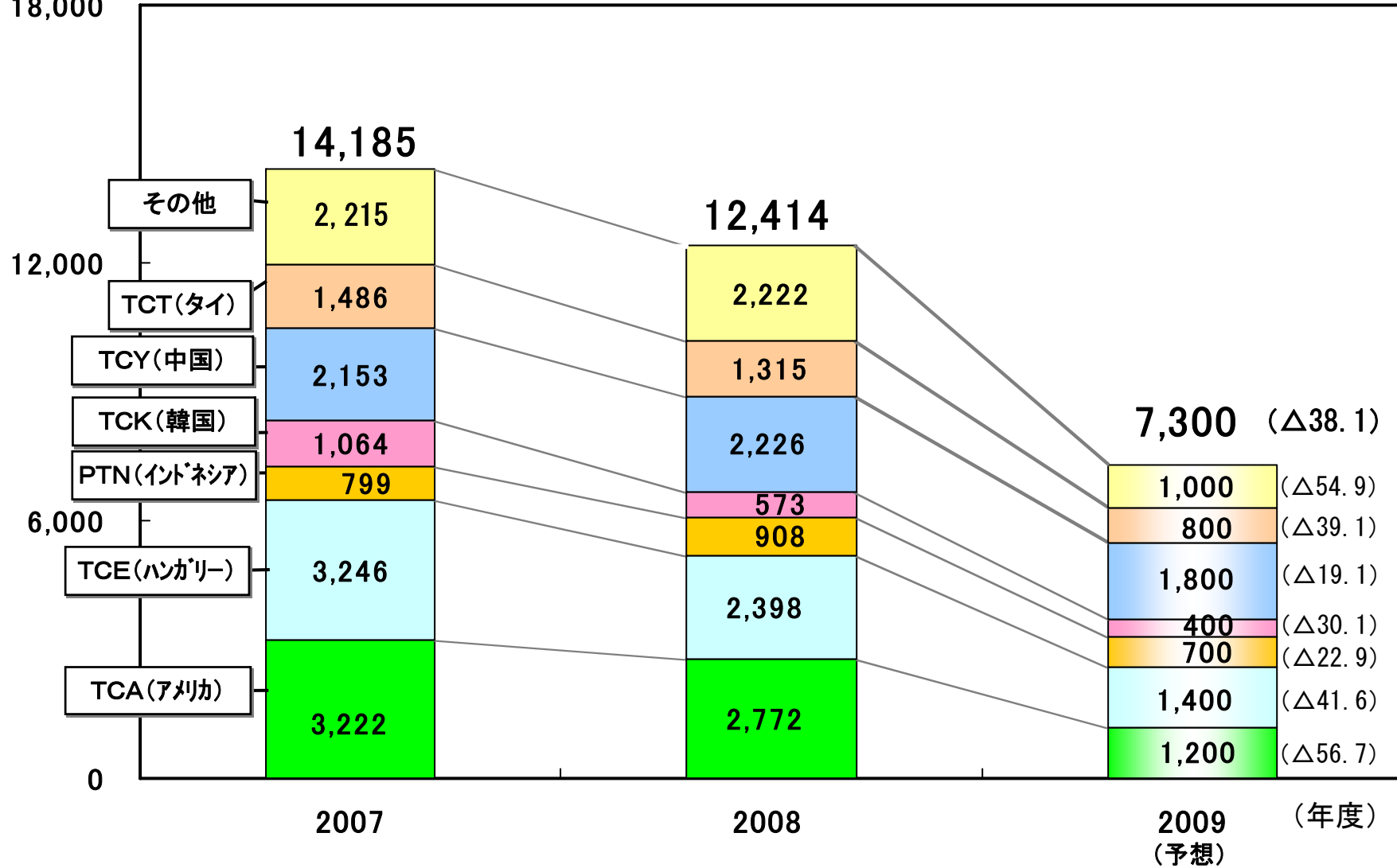
カッコ内は対前年増減率 (%)



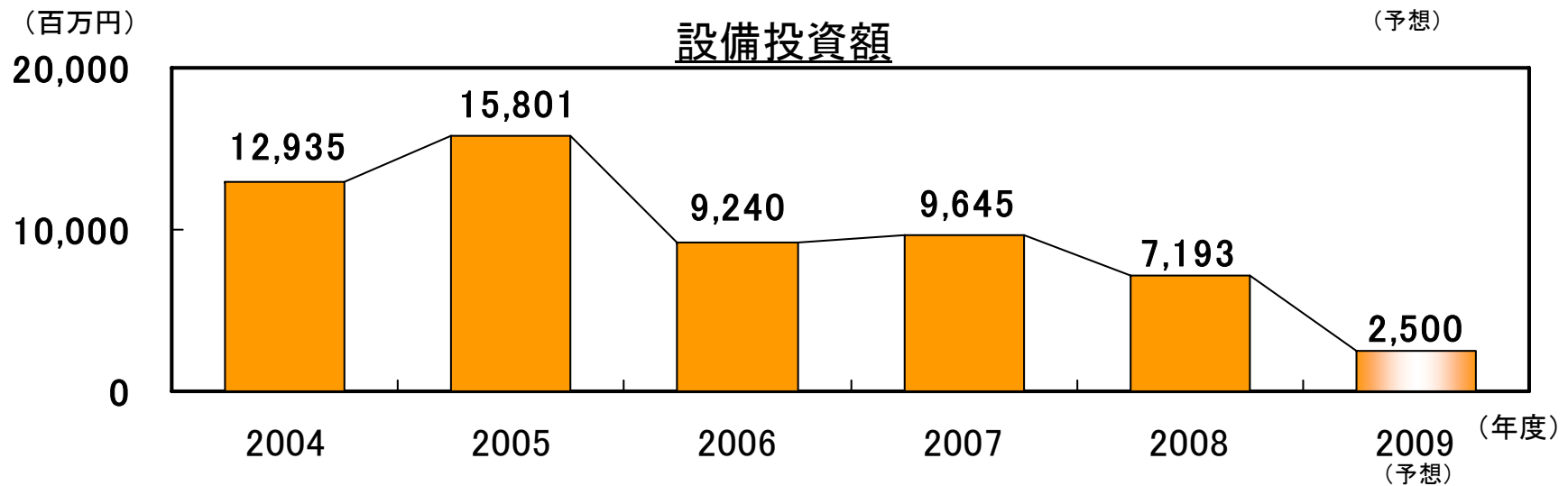
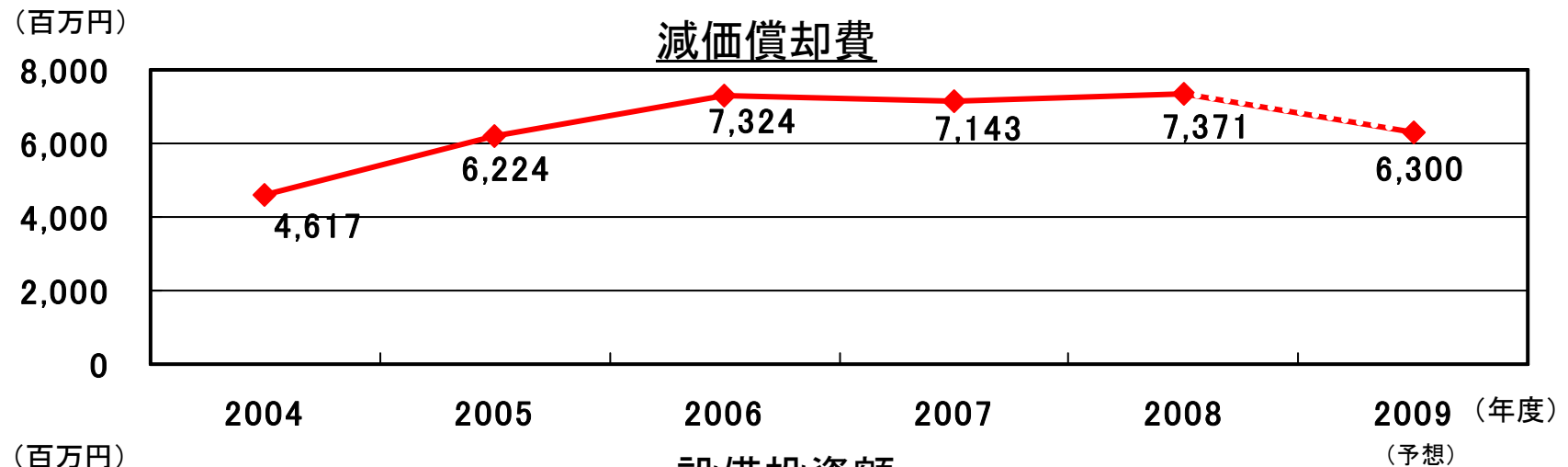
海外連結売上高(連結消去前)

(百万円)
18,000

カッコ内は対前年増減率 (%)












減価償却費・設備投資額 =連結=

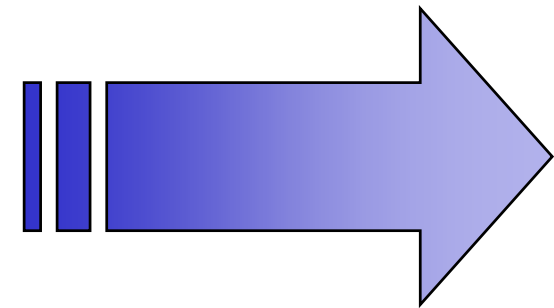


新製品・研究開発・環境に絞り込んだ投資を実施

基礎投資の状況 = 連結 =

年度		2005～2008			2009
生産拠点	国内	大豊精機(株) 新本社完成 (2005年) 	大豊岐阜(株) 設立(2005年) 	日本ガスケット(株) 新本社完成 (2008年) 	
	海外	中国(TCY) 新工場完成 (2006年) 	アメリカに TTN設立 (2007年) 	日本ガスケット(株) タイ新工場完成 (2008年) 	中国(TCY) めっき工場 操業開始 
	新製品	バタフライ式EGRバルブ 日野：大型トラック初採用 (2005年)  バキュームポンプ トヨタ：ヴォクシー/ノア初採用 (2007年) 			

増産対応・基盤拡大
のための投資から



新製品・研究開発・環境
のための投資へ

3. 当社の取り組み

VISON2015達成への取り組み

大豊グループが目指す姿

自動車用すべり軸受分野で

世界No.1の実現

トップブランドの確立

環境・エネルギー・安全等の課題解決に寄与する新製品の開発・提供

大豊グループの総合力を生かした

型・設備・製造システム製品の確立

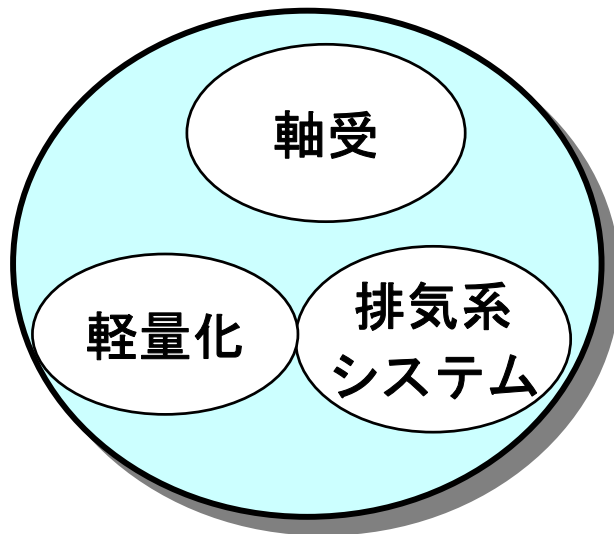
環境技術への貢献

CO₂削減への貢献(2001年度比)

<2007年度>
約20万トン

約5倍の貢献

<2015年度>
約100万トン



取り組み状況

	~2009	2010~
方針	<ul style="list-style-type: none"> ・収益改善 (収益構造の見直し) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤強化 ・商品力強化
内容	<p>緊急収益改善チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上 ・ラインの寄せ止め ・設備投資の圧縮 ・間接部門のスリム化 	<p>(1) 基盤強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場シンプル・スリム化、製法刷新 ・工機事業の再編 ・組織効率の向上、プロジェクト体制 <p>(2) 新製品・新技術開発強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軸受競合力の向上 ・システム部品の開拓 ・新領域の開拓

1-(1) 基盤強化～製法刷新と工場再編<国内>～



幸海工場



本社工場



細谷工場



篠原工場



九州工場

- 大豊工業
- 国内子会社



大豊岐阜株



大豊精機(株)



(株)ティーイーティー



日本ガスケツ(株)

1-(1) 基盤強化～製法刷新と工場再編<国内>～



幸海工場



本社工場



細谷工場



篠原工場



九州工場

<部品事業>

- 工場機能再配置
- 製法刷新

エンジンベアリング プッシュ バキュームポンプ



エンジンベアリング生産ライン



大豊岐阜株

- 大豊工業
- 国内子会社



1-(1) 基盤強化～製法刷新と工場再編<国内>～



篠原工場

<工機事業>

- ・工機事業の再編
- ・内製開発の強化



設備



精密金型

- 大豊工業
- 国内子会社



大豊精機(株)



(株)ティーイーティー

1-(2) 基盤強化～ 軸受を中心とした事業の拡大<海外>～



T C Y / 中国

- ・ 新工場の加工能力拡大
- ・ めっき工場新設・稼動(2009)



T C A / 米国

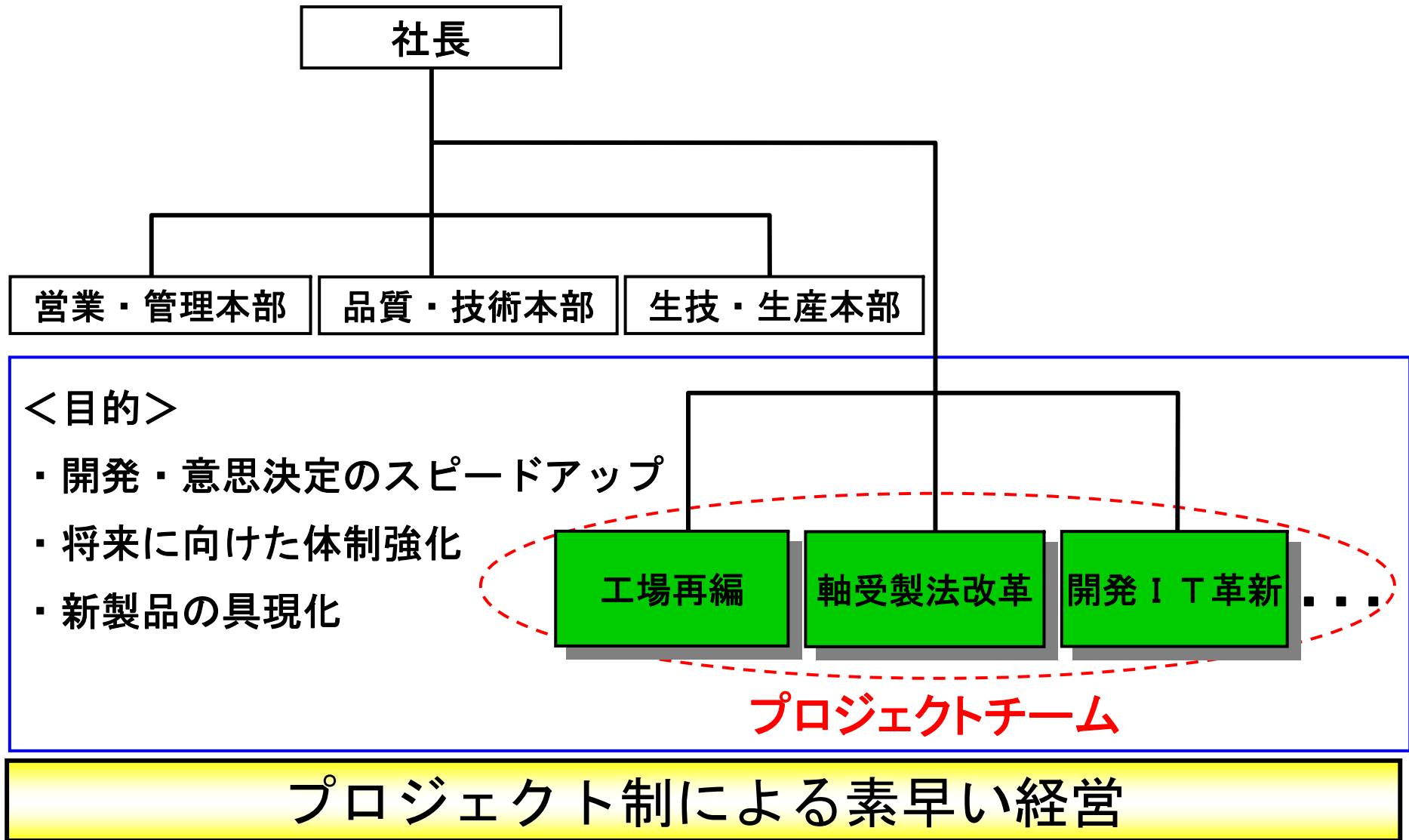
- ・ 不採算事業を縮小
- ・ コア事業への集中・拡大



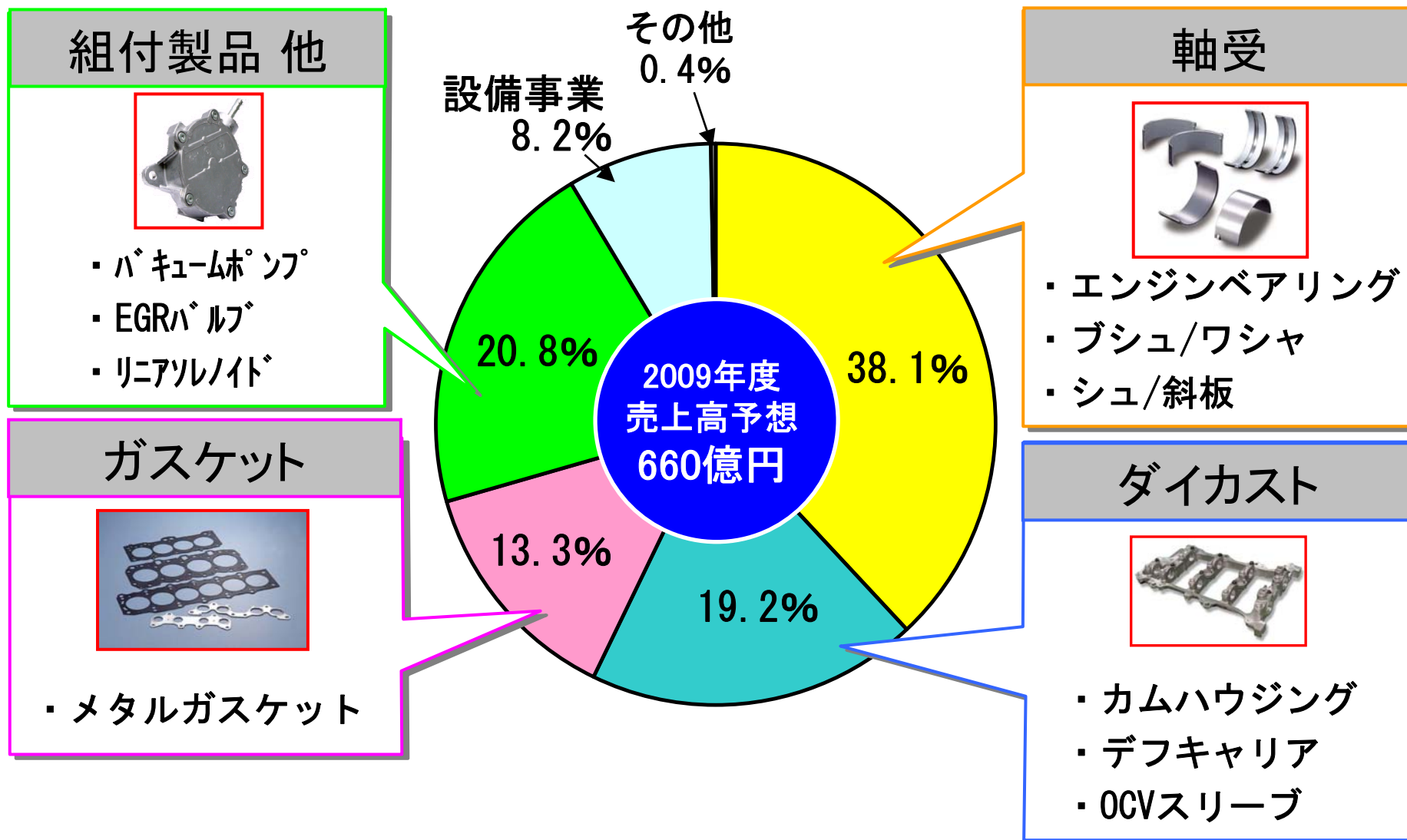
P T N / インドネシア

- ・ 東南アジアの軸受生産拠点として生産能力を拡充

1-(3) 基盤強化～組織効率の向上～



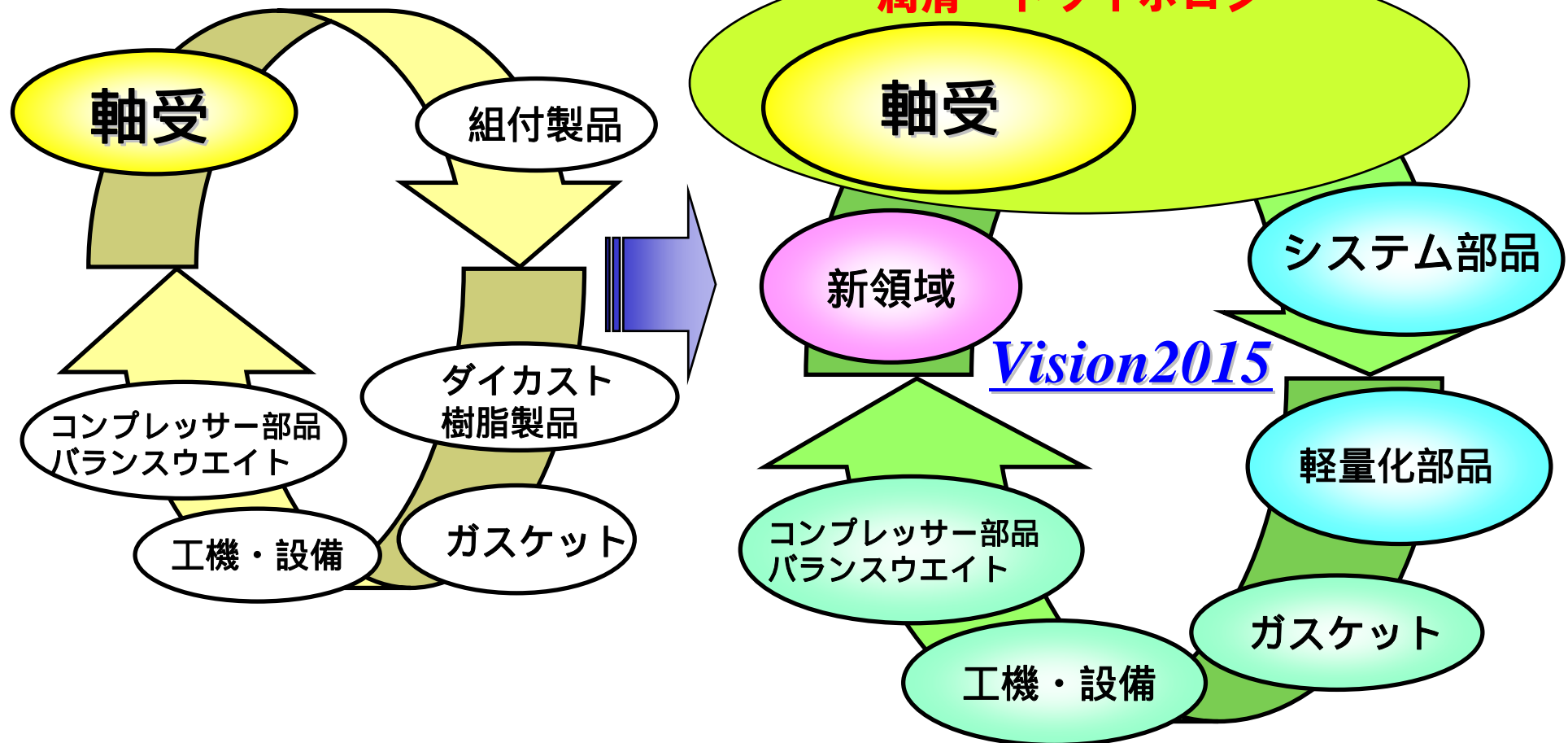
2-(1) 新製品・新技術開発強化～事業別売上高(連結)～



2-(2)新製品・新技術開発強化～2015年の売上規模～

2009年

2015年



潤滑・トライボロジーをコアに新領域を開拓

ご清聴ありがとうございました

◆お問い合わせ先◆

大豊工業株式会社 総務部広報室

Phone 0565-28-2054

simasaki@taihonet.co.jp